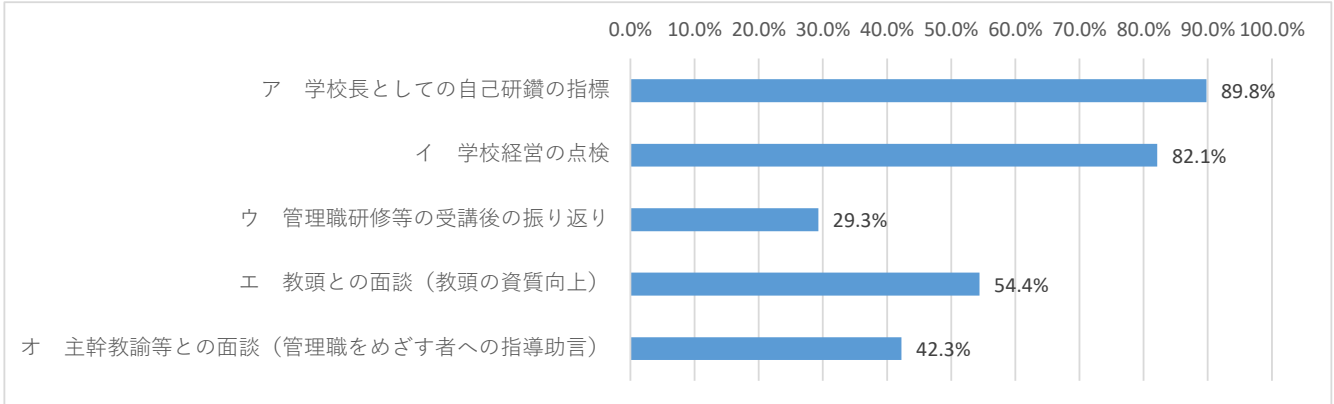


## 教員等の資質向上に関する指標及び教職員研修計画に関するアンケート回答結果

調査期間 令和5年8月1日(火)～8月31日(木)  
調査対象 県内公立学校長99校(神戸市立学校を除く)  
調査方法 Webにて回答  
回答数 有効回答99校(回答率99.8%)  
(小学校559校 中学校246校 高等学校145校 義務教育学校・中等教育学校7校  
特別支援学校・養護学校40校)

### 「管理職指標」について

#### 1 どのように活用されていますか(複数回答可)

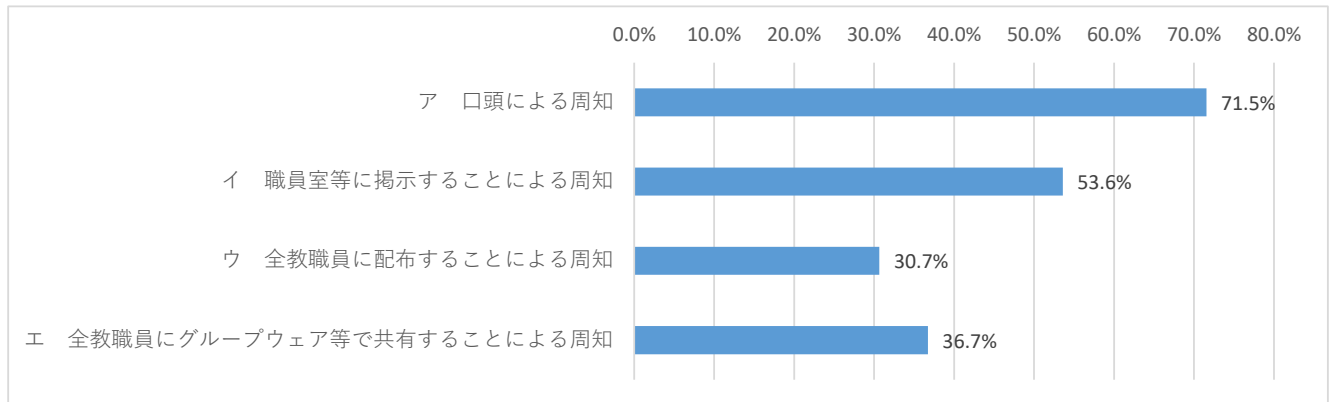


#### 2 「管理職指標」についての主な意見

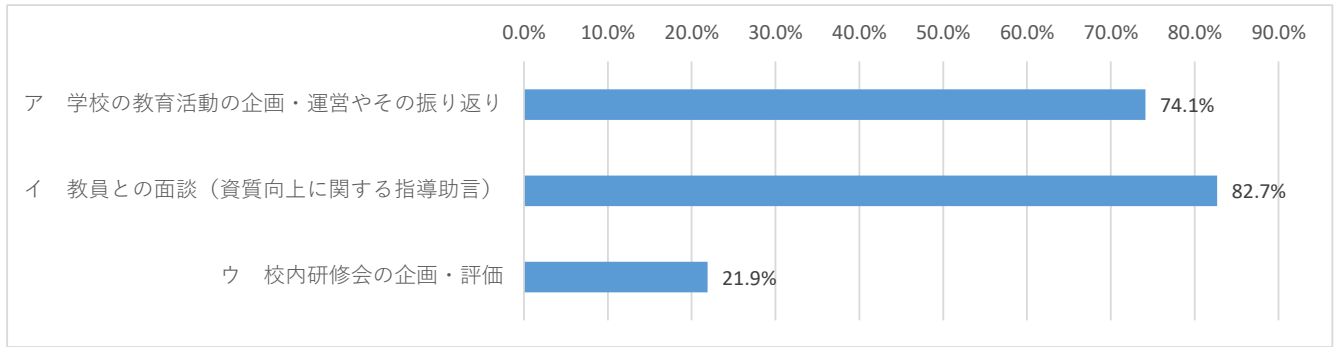
- 経験年数が浅い時期は課題を見つけやすく、目標になるため、キャリアアップにはとても良い。
- これからの管理職には、アセスメントやファシリテーションを行う資質が求められるが、その資質に対する項目が具体的に挙げられていて良い。
- 管理職に求められること、管理職としてなすべきことが一覧となっているので、自己点検に役立っている。
- 校長、教頭ともに自らを振り返る一助となっている。もっと管理職研修での活用があってもいいのではないかと思う。
- 管理職指標にも自己評価シートがあればありがたい。

### 「教員指標」「研修計画」について

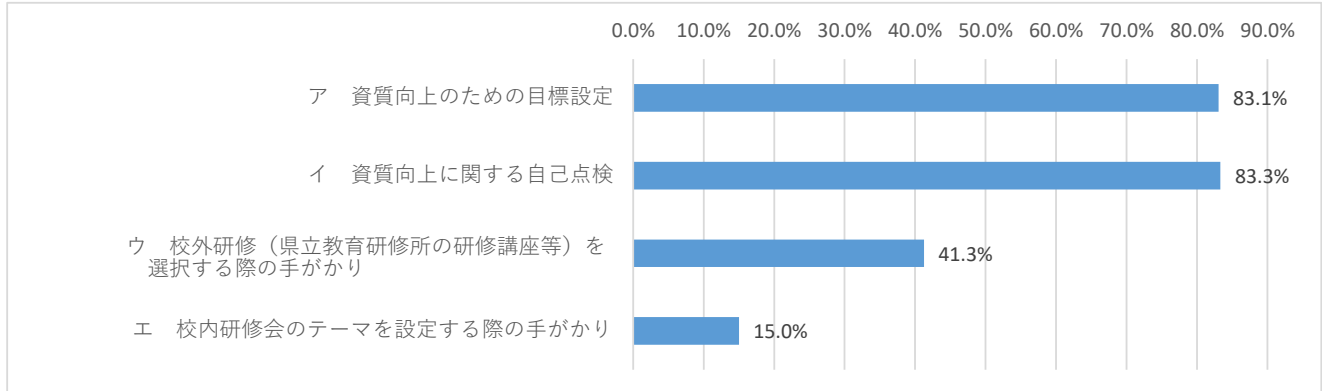
#### 3 教職員へはどのように周知されていますか(複数回答可)



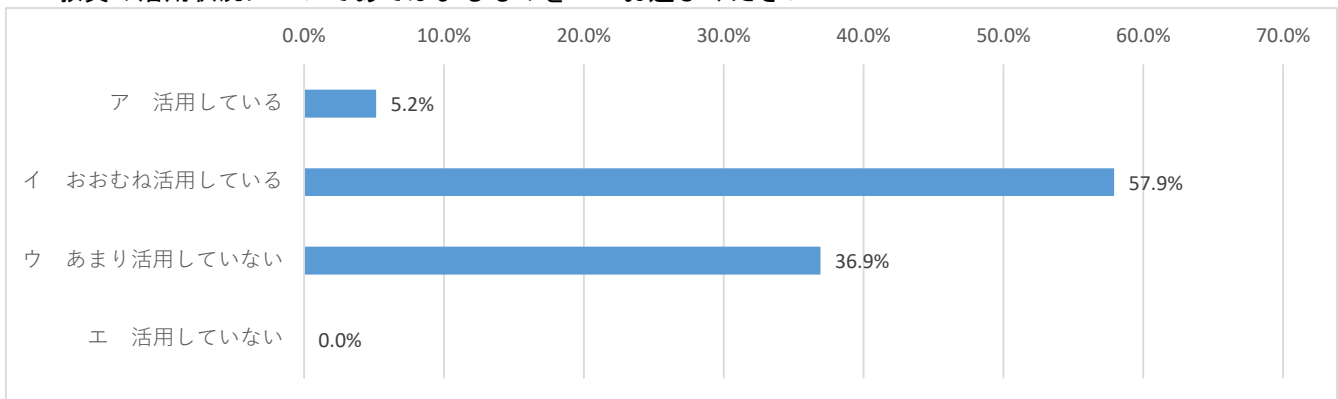
#### 4 校長先生御自身はどのように活用されていますか（複数回答可）



#### 5 教員へはどのような活用を提案されていますか（複数回答可）



#### 6 教員の活用状況についてあてはまるものを一つお選びください



#### 7 「教員指標」または「研修計画」についての主な意見

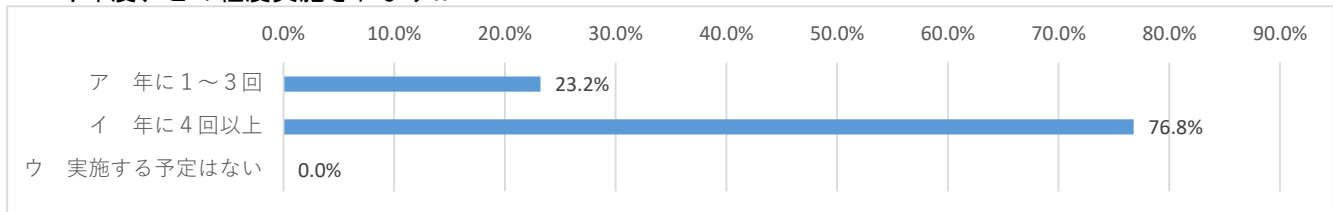
- 教員それぞれが、それぞれのキャリアステージにおいて、重点課題を設定して資質向上を図る際の視点となる。そこから、いかに具体的な実践につないでいくかを大切にしたい。
- 指標は教職員の課題を明確にできる。研修計画を示すことで、教員は自ら学び続けることが大切であると考えさせてくれる、よい啓発資料であると思う。
- キャリアステージ第1期から第3期にわたり、その年代が備えるべき資質等をわかりやすくまとめてあるので、教職員自身が振り返りに使いやすく、今後の研修計画の参考となっている。
- キャリアステージに応じた研修が分かりやすくまとめられているので、見通しを持って取り組みやすい。
- 教員のめざす姿について、分かりやすく良い指標だと思うが、教員への浸透はまだ足りていない。
- 1人1台端末の実現に伴い、第2、3期に位置付けられている指標についても、前倒しで重点的に取り組む必要があると感じる指標もある。
- 良くまとまっているが、指標の文字が小さいので、第1期指標など期ごとに別表にしたほうが活用しやすい場面も多いように思う。

## 8 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励（資質向上に関する指導助言）についての主な意見

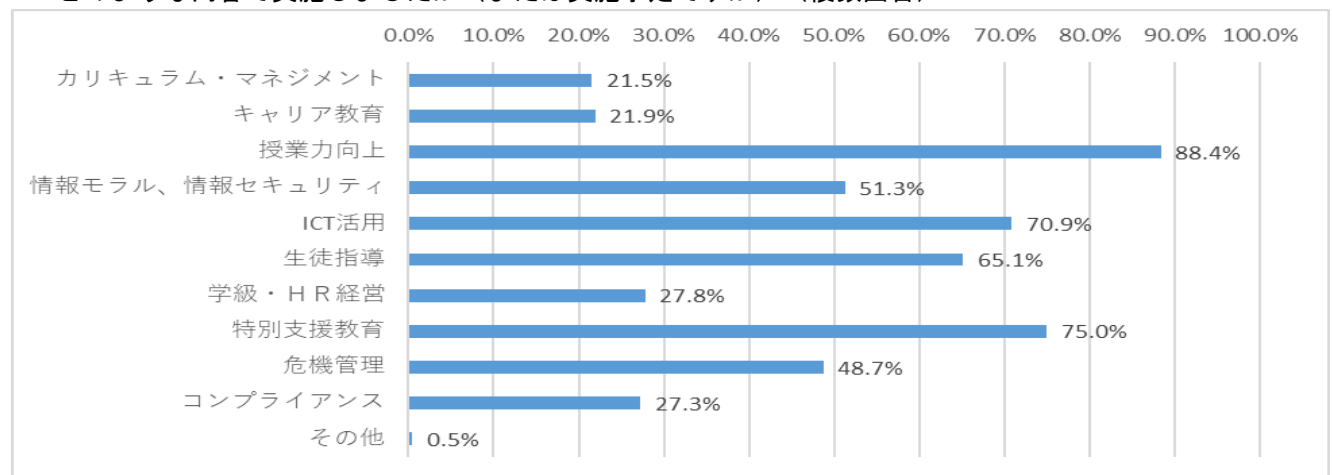
- 校長面談の中で、研修履歴や研修の成果、高められた資質等を確認しながら対話することができ、各教職員の資質・能力の向上や、一層の主體的な研修の推進に役に立っている。
- 各先生がどのような研修を受講されたのかが分かり、管理職からの指導助言が具体的にできる点がとても良い。
- 教職員のメタ認知によるスキルアップには大いに役立つと考えている。
- 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励後にどういった研修を受講したかを見取ることは重要であるが、校長として各教員の研修承認等の事務処理が大変多く、苦慮している。
- 研修に行きたくて学びたい教員、そうでない教員との差があることや、学校を抜けにくいことなどから、研修奨励がすすまないことがある。

## 校内研修について

### 9 今年度、どの程度実施されますか



### 10 どのような内容で実施しましたか（または実施予定ですか）（複数回答）



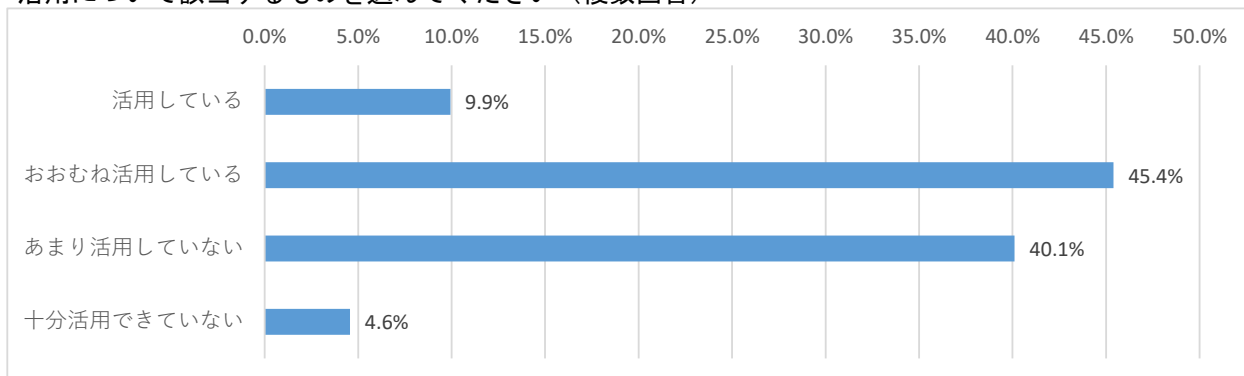
### 11 校内研修の充実に向けた課題

- 研修や出張で学んだことを全職員に還元するような機会を積極的にもつようになっている。研修の形態も参加型にするなど、やらされている研修ではなく、やりたい研修・楽しい研修となるように計画的に進めている。
- 外部（他校、他市町、民間）の研究・研修を積極的に受けることが校内研修の充実にもつなぐと考え、年1回以上の外部研修を推奨している。
- 全教職員が一堂に会して研修をすることは、時間的に難しい。職員朝礼などちょっとした時間を使ったミニ研修や、普段から気軽に真面目な雑談ができるような環境作りを進めることが、校内研修の充実に繋がると考えている。
- 研修担当を中心にしっかりと校内研修に取り組む体制を構築して計画的に取り組んでいるが、対応すべき課題が多く、時間の確保についてしっかりと考えなければならない。また、講師を招聘する際の費用等にもっと余裕があれば更に充実した研修を行うことができると考えている。
- 7時間目があり、部活動の時間も制限がある中、新学習指導要領対応、ICT活用のための準備等で忙殺されている現場の状況でかつてのように校内研修を行うのは難しくなっている。
- 研修を企画した際は、大半の先生方が参加しているが、興味を持てる内容にすることや講師を見つけること等が課題である。また、研修のリフレクションができると良いが、なかなかそこまでの時間が取れていない。

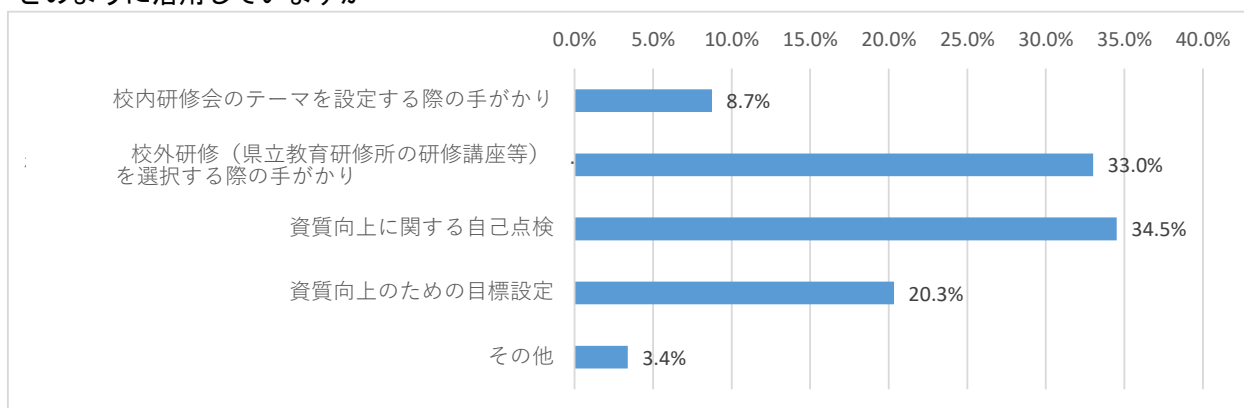
## 兵庫県教員資質向上指標・教職員研修計画及びICT活用に関するアンケート回答結果

調査期間 令和5年8月1日(火)～9月29日(金)  
 調査対象 研修講座受講者  
 調査方法 Webにて回答  
 回答者数 1269 (小学校386 中学校266 高等学校512 特別支援学校105)

### 1 活用について該当するものを選んでください(複数回答)



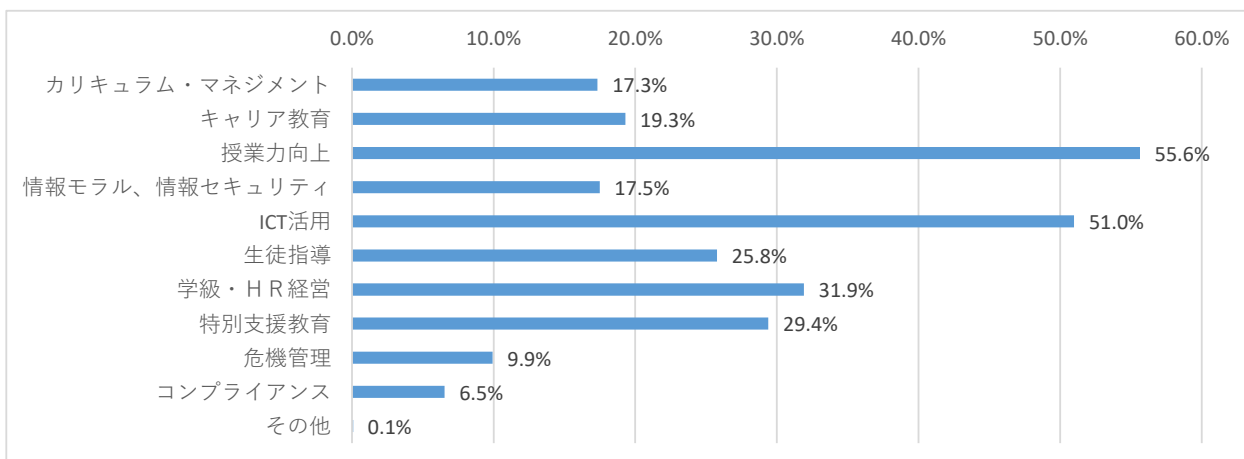
### 2 どのように活用していますか



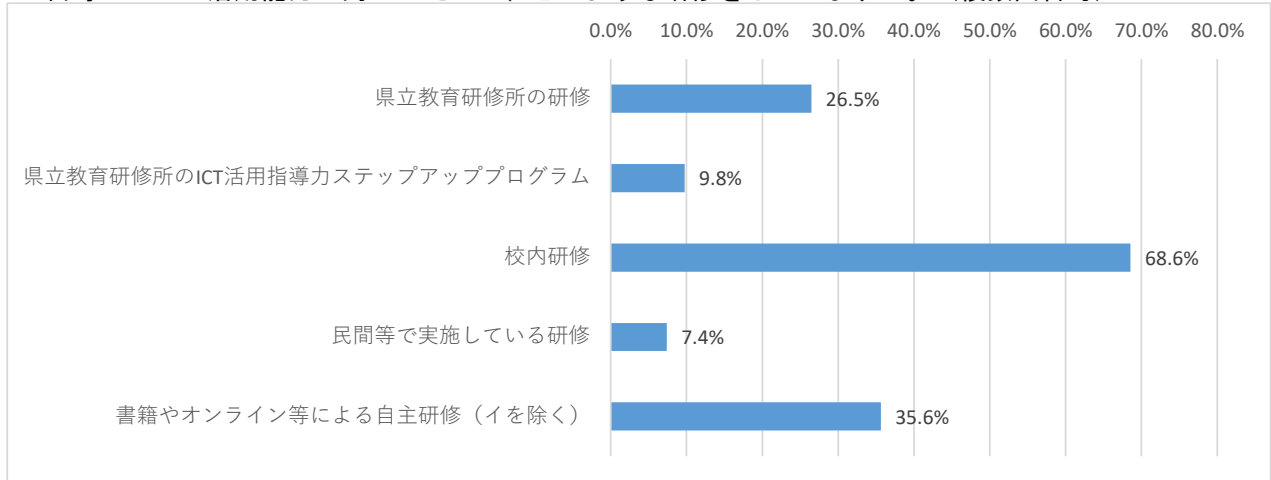
### 3 「教員指標」または「研修計画」についての主な意見

- きちんとしたねらいを持って研修に参加でき、自己点検することができる。
- 教育指標があることによって、自分に必要な研修を受講することができる。
- それぞれのキャリアステージで、自分にどのような資質・能力が求められるのかを知ることができる。
- 日々の職務の中で、必要なことを改めて明確に確認できる。
- 指標が抽象的で、具体的に何ができるようになればいいのか分かりにくい。
- 指標から研修を調べられるようにしてほしい。

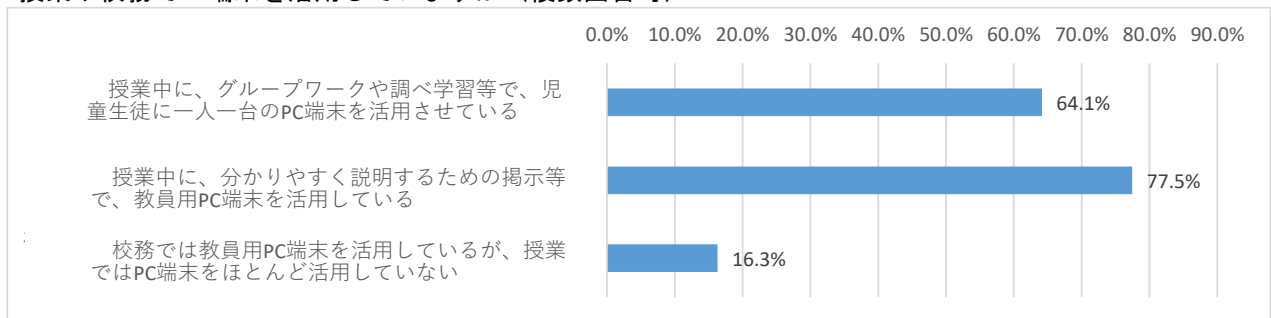
### 4 今後、どのような研修を受講したいと思いますか(複数回答可)



5 ご自身のICT活用能力の向上のために、どのような研修をしていますか。（複数回答可）



6 授業や校務でPC端末を活用していますか（複数回答可）



7 授業でPC端末を活用する上での不安があれば教えてください（複数回答可）

